



### 7/1(水) ハンセン病問題から学ぶべきことは？

LHRを全校生徒合同で実施。星塚敬愛園学芸員の原田玲子さんの講話を聴きました。前半では、ハンセン病問題に関する歴史を理解しました。

また、後半では、話し合いの時間が設けられました。自分たちの中に、自分とは違う一面を持つ人が現れた時に、差別する気持ちが入り込んでくることは往々にしてあるものです。そういうシーンを、自分事として捉え、想像力を働かせて、意見交換しているようでした。相手を理解しようとする、尊重しようとする気持ちを持つことの必要性を、生徒たちは実感できたのではないのでしょうか。

事前アンケートでは、約3割の生徒がハンセン病を知らないとのことでした。**ハンセン病問題を理解するのはもちろんですが、偏見や差別をなくすにはどうすればよいのか、人権が尊重される社会を実現するにはどうすればよいのか、そして自分たちに何ができるのか**を考えるきっかけとなりました。



### 6/30(火) 自分の命を守り、人を傷つけない

期末考査終了後、交通安全教室を開催。いちき串木野警察署の署員による講話を聴きました。29日現在、いちき串木野市内では死亡事故こそないものの、事故発生件数、ケガ発生件数は前年よりも3倍以上になっているとのことでした。

4月から、道路交通法の一部を改正する法律が施行され、自転車の交通違反に対して「交通反則通告制度(いわゆる青切符)」が導入されました。この

制度は、16歳以上が対象となり、違反行為に対しては反則金が定められています。生徒たちは動画を見て、傘さし運転、並列運転、イヤホン装着等の危険性を認識したと思います。**事故をゼロにするのは簡単なことではありませんが、自分の意識しだいで事故を起こす確率を限りなくゼロに近づけることはできます。**テストが終わり、夏休みを控え、気分が開放的になりがちな時期です。これもまた、自分事と捉え、想像力を働かせることが大事です。



### 6/29(月) 3年進路検討会を行いました。

生徒のテスト期間中に私たちも勉強でした。3年生50人全員の進路目標を全職員が情報共有。今後の手立てについて検討しました。**3年生諸君、テストが終わって一息ついているようではまだまだ。自分の可能性を信じ、この夏はできる限りのことを！**三者面談は21日からです。

### 7/3(金) 本日は、5年に1回の県教委学校訪問。研究授業を行いました。

2年生の英語(隈元教諭)、3年生の数学(指宿教諭)の授業を公開しました。その後は、授業内容の振り返りのほか、全体会では県教委から様々な指導・助言をいただきました。今後の教育活動に還元していきます。

インスタもご覧ください。串木野高校頑張っています(文責 立森)